

年 組 名前:

県立大 中高生向け事業スタート

女子生徒の理系進学支援



女子中高生を対象に、進路選択や学びの大切さについて話した風間ふたばさん(左)と高木昌宏さん

甲府・県立図書館

山梨県立大は20日、甲府・県立図書館で、本年度からスタートした「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の初回事業となる講演会を開いた。今後3年計画で、女子中高生のものづくりや理工系分野への興味・関心を高め、理工系への進学を促して、次代を担う科学技術人材を育成する取り組みを進めていく。

県立大は2028年に目指す「ス」を設置した。進路選択支援プログラムは、一連の理系人材育成の一環。大学進学とその先のキャリア形成について女子中高生が考えを深められるよう、さまざまな働き方や生き方に触れる機会を提供していく。女性技術者のいる現場体験や、大学教員や地域で活躍する女性らに話を聞くサロンの開催、ものづくりの面白さを体験する場の創出など、多様なプログラムを用意している。

20日は、「人生100年代」の学びと生き方について中高生や保護者、教員らに考えてもらおうと、同大特任教授の風間ふたばさんと同大客員教授の高木昌宏さんが講演。風間さんは「自分はどこでどのように働き、学び、老いていくのか、一人一人が人生のストーリーを考えて行動する必要がある」とし、高木さんは「大切なのはあなたらしさであり、思い切ったチャレンジする気持ちだ」と話した。

〈五味優子〉

(2024年7月21日付 山梨日日新聞 16面)

問1

山梨県立大が、講演会を開きました。だれを対象とした、なにを支援するプログラムですか。

・だれを対象:

・なにを支援:

問2

今後予定しているプログラムを3つ答えてください。

.....

.....

.....